

第八十一回帝國議會 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道 買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件

昭和十八年二月九日(火曜日)午後一時二十  
五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 橫川 重次君  
理事佐久間 渡君 理事坂東幸太郎君  
理事山田 順策君  
逢澤 寛君  
植村 武一君  
勝又 春一君  
小浦 總平君  
田中 亮一君  
高畠龜太郎君  
信正 義雄君  
同日委員愛野時一郎君辭任ニ付其ノ補闕ト  
出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 八田 嘉明君  
出席政府委員左ノ如シ  
内務省管理局長 竹内 德治君  
鐵道次官 長崎惣之助君  
鐵道監 佐藤 榮作君  
鐵道監 堀木 鎌三君  
鐵道監 小林 紫朗君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道  
買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府  
提出)

多獅島鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵  
道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政  
府提出)  
○横川委員長 是ヨリ開會致シマス、前回  
ヲ以テ大體ノ質疑ヲ終了シタノデアリマス  
ガ、尙ホ一點補足的ニ委員長ヨリ當局ニ質  
疑ヲシタイト存ジマス、本鐵道買收ニ依リ  
マシテ、相當巨額ナル資金ガ撒布セラレル  
コトニ相成ルト思フノデアリマスガ、時  
局下ニ鑑ミマシテ、是ガ財政經濟上ニ及ボ  
ス惡影響ガアツテハナリマセヌノデ、是等  
ニ對シテハ、當局ニ於テ相當ノ用意ガアル  
コトト存ジマスルガ、其ノ點ニ付キマシテ  
御伺ヒヲシタインデアリマス、尙ホ其ノ考  
慮ニ續イテ、何カ被買收會社側ニ對スル租  
稅上ノ便宜ナル措置ヲ御考ヘニナツテ居ル  
點ガアリマスルナラバ、其ノ點モ御伺ヒ致  
シタイト存ジマス

○八田國務大臣 只今御質問ノ如ク、此ノ  
度ノ地方鐵道買收ニ伴ヒマシテ、相當巨  
額ノ公債ガ發行セラレル譯デアリマス、  
此ノ交付ニ因リマシテ、時局下ノ財界經  
濟界ニ惡影響ヲ來サヌヤウニト云フコト  
等關係方面ト協議ヲ遂ゲマシテ、是ガ對  
策ヲ十分ニ講ジテ居ル次第ゴザイマス、  
其ノ概要ヲ摘シテ申上ダマスルト、要ス  
ルニ一口ニ申セバ、「インフレ」防止ノ對  
策ト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、通

常地方鐵道ヲ買收シマシテ、之ニ交付スル  
所ノ買收代價ニ對スル所ノ國債證券ハ、從  
來其ノ一部ヲ處分致シマシテ、或ハ債務ノ  
辨濟、或ハ從業員ノ解散手當、其ノ他殘餘  
財產ノ分配等ニ充當シテ參ツタノガ例デア  
リマス、併シナガラ今回ハ時局ニ鑑ミマシ  
テ、是ハ適當デナイト考ヘマスルノデ、此  
ノ買收セラレマスル鐵道會社ト、豫メ既ニ  
協議ヲ十分致シマシテ、此ノ國債證券ヲ受  
領致シマシテ、後ノ處分ニ付キマシテハ政  
府ガ之ヲ指示スル、即チ交付國債證券ノ處  
置ハ、政府ノ指示スル所ニ依ルト云フコトヲ  
協定ヲ遂ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、  
之ニ關聯致シマシテ色々ト處置ガ考ヘラ  
ルノデアリマスガ、一ツニハ鐵道ガ財產ガ  
買收サレマシタ後ニ於キマシテモ、國債證  
券ヲ保有シマシテ會社トシテ存續致シテ參  
ルト云フコトデアリマス、交付公債ハ之ヲ  
登錄公債ニスルコトモ亦考ヘラレルノデア  
リマス、又債務ノ返済、從業員ニ對スル退  
職金等ハ、原則トシテ交付公債ヲ以テ充當  
スルト云フヤウニ斡旋スルト云フコトヲ考  
ヘテ居ルノデアリマス、勿論是ノ半面ニ於  
キマシテ、此ノ買收サレタ鐵道會社ニ於キ  
マシテハ、迷惑ヲ蒙ル點モ少クナイト考ヘ  
マスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、ソレ  
ゾレノ會社ノ實情ニ應ジマシテ、最モ適當  
マシテハ、迷惑ヲ蒙ル點モ少クナイト考ヘ  
マスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、ソレ  
ゾレノ會社ノ實情ニ應ジマシテ、最モ適當  
ナル方途ヲ講ズルヤウニ、今後トモ協議ヲ  
續ケテ行ク積リデアリマス、斯様ナ方法ニ  
依リマシテ只今御尋ネノ點ハ、政府ニ於キ

付託議案  
北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一  
鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル  
法律案(政府提出)(第三五號)  
多獅島鐵道株式會社所屬新義州南  
市間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關ス  
ル法律案(政府提出)(第三五號)

マシテ十分ナル考慮ヲ拂ツテ居ルコトヲ、  
御諒承願ヒタイト思ヒマス  
○横川委員長 質疑ハ終了致シマシタ  
○横川委員長 是ヨリ北海道鐵道株式會社  
所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關  
スル法律案及ビ多獅島鐵道株式會社所屬新  
義州南市間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關ス  
ル法律案ノ兩案ヲ議題トシテ討論ニ付シマ  
ス——坂東幸太郎君

○坂東幸太郎君  
各案ニ對シマシテ賛成ノ意思  
ヲ表明致シマス、我ガ國ノ鐵道ハ官設ヲ原  
則トシ、私設ハ例外デアリマスケレドモ、  
現在尙ホ多クノ私設ヲ有シテ居ルノデアリ  
マス、故ニ鐵道省ハ其ノ事業ノ推移、或ハ  
情勢ニ鑑ミマシテ、必要アルモノヲ速カニ  
買收スルコトハ當然ノコトデアリマス、此  
ノ意味カラ是ハ贊成致シマスガ、同時ニ他  
ニ尙ホ多數買收ヲ要スルモノガアルト思ヒ  
マス、是等ニ關シテハ、政府ハ十分ニ調査  
ヲ致サレマシテ、速カニ其ノ買收ノ方法ヲ  
執ルコトガ最モ必要デアルト信ズルモノデ  
アリマス、又此ノ委員會ニ展開セラレタル  
本案ニ關係致シマスル鐵道ニ關スル事項デ、  
政府ガ之ヲ肯定シタモノニ對シマシテハ、  
或ハソレニ關スル調査ヲ進メ、或ハ研究ヲ  
遂ゲ、或ハ實行シテ行クモノハ實行シテ行  
クヤウニ、十分ノ御注意アランコトヲ切望  
致シマス、簡單デアリマスガ、之ヲ以テ私

ノ本案ニ對スル贊成ノ言葉トスル次第デア  
リマス

○横川委員長 討論ヘ終局致シマシタ、是  
ヨリ採決ヲ致シマス、兩案トモ原案ニ贊成  
ノ諸君へ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○横川委員長 起立總員、仍テ兩案ハ原案  
ノ通リ可決致シマシタ(拍手)連日ノ御熱心  
ナ御討議ヲ感謝致シマス、洵ニ有難ウゴザ  
イマシタ、是ニテ散會致シマス

午後一時三十四分散會